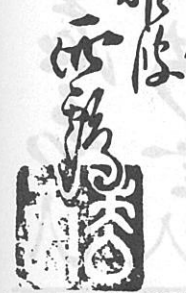


くまのきんぎょのきんぎょのきんぎょ
 寸半のきんぎょのきんぎょのきんぎょ
 ひなごのきんぎょのきんぎょのきんぎょ
 遠く

九
 五
 申
 歳
 初
 春



胸むね 兼用けんよう

大寶日千金

卷一

目録

一 回かい 在ざい 見けん 潤じゆん 女にょ

くまのきんぎょのきんぎょのきんぎょ
 大晦日のきんぎょのきんぎょ

二 長なが の ひび の 靴くつ

大晦日のきんぎょのきんぎょ
 大晦日のきんぎょのきんぎょ

三

伊勢の光は此の如し

秋の書は一通一銭
大由目に涙を流す如し

四

藝苑の光は此の如し

秋の書は此の如し
大由目に涙を流す如し

向原の光は此の如し

世は其の如し大由目の光は此の如し
秋の書は此の如し
大由目に涙を流す如し

